

第2回人がつながる「地域と共にある学校づくり」研修講座の実施報告

- 1 日時 平成26年12月24日（水）9:30～12:00
- 2 会場 奈良県立橿原考古学研究所
- 3 参加者 県内公立小・中学校教職員、市町村教育委員会事務局関係職員、社会教育施設関係者【合計】127名
- 4 内容 9:30～9:35 開会
9:35～10:35 講演

「学校がかがやく 文化芸術の力で ～学校と社会教育施設のつながりから～」

滋賀次世代文化芸術センター副代表・プログラムディレクター 津屋 芙未 先生

10:50～11:05 実践発表

A分科会 「みんなで楽しもう 自然体験」

奈良県立野外活動センター 主査 鍵田 幸男さん

B分科会 「公共図書館における学校・図書館との連携」

～子どもたちの読書推進への取組について～

五條市立図書館 館長 百田 恵子さん

C分科会 「子ども考古学と移動博物館」

橿原考古学研究所附属博物館 主任学芸員 重見 泰さん



5 講演概要

「すべての子どもたちに、美しいもの、本物に触れる体験の機会を充実させたい」という思いの実現のためには、「学校とミュージアムの連携」が重要と考え、学校と美術館をつなぐアートNPO活動を開始。このような活動を支える広域的な基盤づくりの必要性から、学校と美術館双方の調整や授業実現までをコーディネートし、生徒の学びをサポートする中間支援組織である滋賀次世代文化芸術センターを創設した。

当時、縦割りで運営されていた様々な社会教育施設を、センターが中心となって横の関係でつないでいくシステムをつくった。築かれたネットワークを活用して、「すべての子どもたちに」という共通理念のもと、学校と社会教育施設とが共通の目標をもって、協働して豊かな学びを創造している。その際に、すべての子どもが生き生きと活動し、自己を表現できるような授業プログラムとなるよう滋賀大学教育学部との共同研究により行っている。

6 実践発表（分科会）、グループワーク

〈A分科会〉

県立野外活動センターが実施する自然体験学習や出前講座などについて実践発表。森林環境教育や防災教育を進める上で、青少年教育施設等との連携の方途について意見交換した。

〈B分科会〉

「地域とつながる図書館」をテーマに、五條市立図書館が実施する「学校と連携した取組」を発表。各地域で取り組まれている図書館と学校の連携の進捗状況について意見交換をし、新たな連携の方途について協議した。

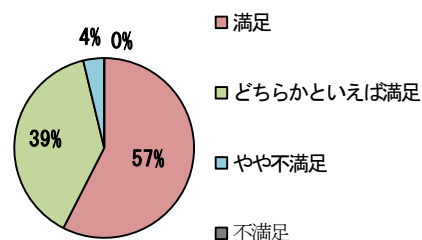
〈C分科会〉

子どもたちがホンモノに触れ、歴史への理解を深めるための取組として、県立橿原考古学研究所附属博物館が実施する「移動博物館」と「子ども考古学講座」について実践発表。学校でも博物館でも歴史への理解を深める学習の場が設定できることを共有し、今後の活用について意見交流した。

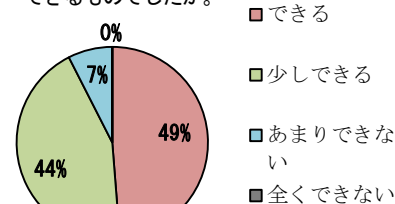
7 感想

- ・美しいもの、本物を見せる、体験させることが、子どもたちにとって、とても大切だとあらためて確認しました。
- ・地域の文化施設をどう学校の授業に活かしていくのかについて、教示をしていただいた。
- ・社会教育からのアプローチというのが初めてで、とても興味深かったです。
- ・現在、奈良国立博物館で世界遺産学習を進めているが、今回の事例を参考によりよいものを考えたい。
- ・図書部として、地域図書館との連携に活用したい。 ・博物館ともしっかりと連絡をとってみたいと思った。
- ・学校関係者の方と意見交換でき、大変勉強になった。

1 本日の研修講座の内容は、いかがでしたか。



2 本日の研修講座の内容は、今後の活動に活用できるものでしたか。



3 本日の研修講座の内容は、職場等で広める計画はありますか。

